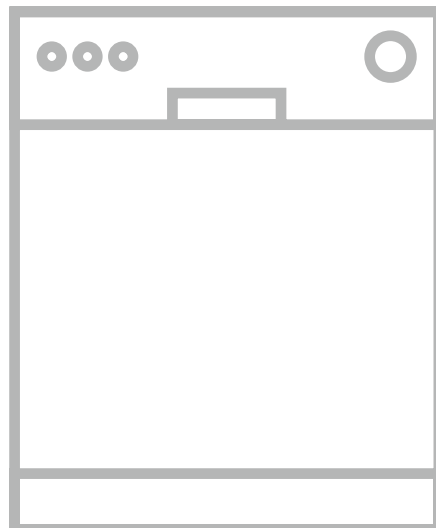


AEG

設置マニュアル

AEG 製電気食器洗い機 FEE63400PM

Installation Manual for
AEG Dish-Washer, FEE63400PM



AEG 製電気食器洗い機を購入、設置される前に

設計者／製品の据え付けをされる方へ

- 製品の性能を十分発揮させる為に、必ず本設置マニュアル通りの設計、本製品の設置、試運転を行ってください。
- 本設置マニュアル通りの設置を行わなかった場合、漏電、感電、火災など重大事故につながるおそれがあります。本マニュアルに従わずに発生した事故、損害については、当社は一切責任を負えません。
- 本製品の設置後は、本マニュアルを捨てずに、必ずご使用される方、または製品を管理される方にお渡しください。
- 各工事は、水道法、建築基準法、各条例など、法規に準じて行ってください。

製品を使用される方／管理される方へ

- 転居や製品の移設をされる場合の設置時に必要となりますので、“取扱説明書”とともに、大切に保管してください。

警告 ご確認ください。

①【電源/回路】

本製品は、単相200V・20Aの本製品専用の回路と漏電しゃ断器を必ず必要とします。また、電気設備技術基準等関連法令規則等に従い、『**法的有資格者**』による**電気配線工事、アース工事（D種接地工事）**が必要となります。

①【水道水圧/給水栓の分岐について】

本製品は、0.05-0.8MPaの範囲の水道水圧でご使用頂けます。給水栓を分岐されていると、本製品への給水時、水道水圧がご使用頂ける範囲より下がってしまい、正常に給水されず、エラー表示されることがあります。水道水圧および給水栓の工事については、各自治体もしくは水道工事店にお問い合わせください。

①【給水接続】

本製品は、余熱乾燥方式を採用しており、乾燥時に水凝縮方式で乾燥効率を上げております。その為、余熱乾燥時にお湯が入ってしまうと、より乾きが悪い状態になります。必ず給水接続を行えるようにしてください。

①【一般家庭用の製品です】

本製品は一般家庭で使用することを想定されて設計されています。業務用にはご使用になれません。一般家庭用製品を業務用途でご使用された場合、早期故障、故障による水漏れなどの原因となります。絶対に使用しないでください。

安全上のご注意

以下に示す注意事項は人への危害、財産の損害を防止するためのものですので、必ずお守りください。

図記号の詳しい説明は以下の通りです。

 警告	この図記号を無視して、誤った取り扱いをすると、『人が死亡または重傷を負う可能性が想定される』内容を示しています。		この図記号は、必ず実行しなければならない『強制指示の行為』内容です。
 注意	この図記号を無視して、誤った取り扱いをすると、『人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される』内容を示しています。		この図記号は、してはいけない『禁止の行為』内容です。

設置上のご注意

警告

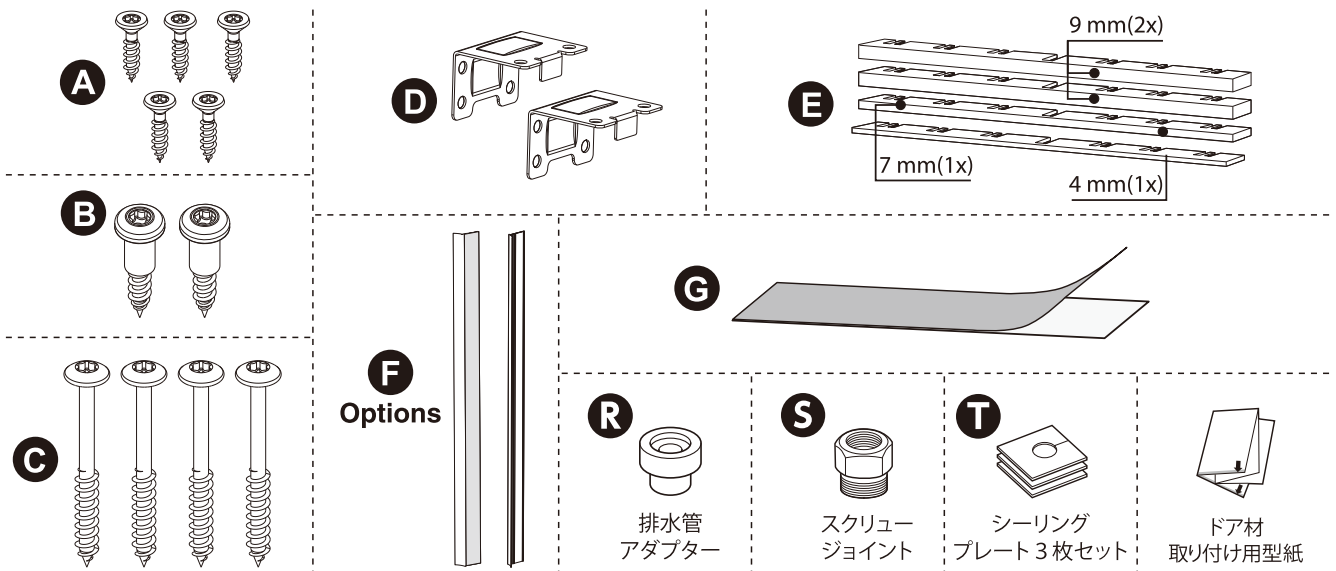
- ❶ “ご確認ください”に記載されている電源および回路、水圧、接続に関する警告をお読みください。
- ❷ 設置が適切でない場合、漏水、漏電、火災などの重大事故につながるおそれがあります。また、電源回路の容量不足や、据付工事の不備により、感電、火災の原因となります。
- ❸ 電源プラグ（250V/20A）に合う専用コンセントを単独で使用してください。
- ❹ 電源電線及びアース線について、プラグを外して直結しないでください。漏電、ショートなどによる感電、火災の原因となります。
- ❺ アース接地工事、接続、固定などが不完全な場合、故障、漏電時に感電など重大事故につながるおそれがあります。
- ❻ 絶対に分解・修理・改造を行わない。火災、感電、けがのおそれがあります。
- ❼ 水滴がかかる所、地下室など、湿気が大量に発生する場所には絶対に設置しないでください。絶縁不良、サビ、接触不良、漏電、火災につながる恐れがあります。

注意

- ❶ 設置先のキャビネット部側板、ワークトップ／カウンターがしっかり固定されていて動かない事を確認し、本製品使用時に倒れないようにする。故障、破損、けがなどの原因となります。
- ❷ システムキッチンにビルトインする際は、本製品が接触する部分へ保護や養生を行ってから作業を行う。

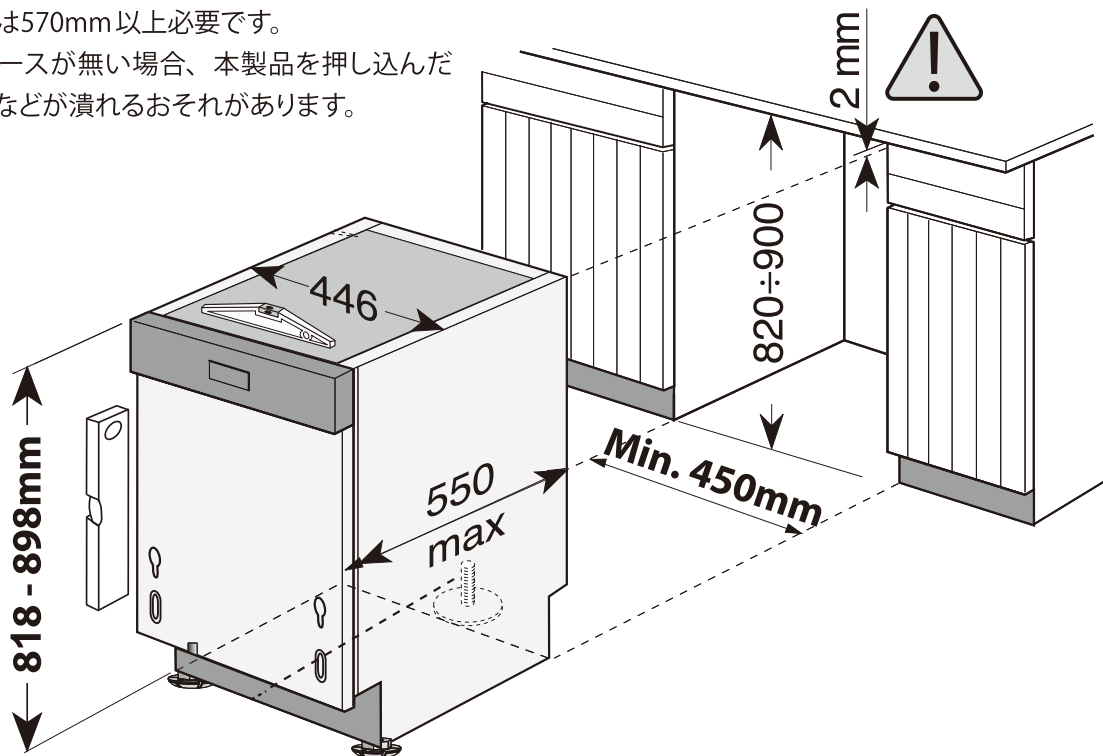
同梱されているパーツについて

※同梱されているパーツは予告なく変更となる場合があります。不明なパーツがある場合は廃棄せず、弊社までお問い合わせください。



設置に必要な開口寸法について

開口奥行きは570mm以上必要です。
十分なスペースが無い場合、本製品を押し込んだ際にホースなどが潰れるおそれがあります。

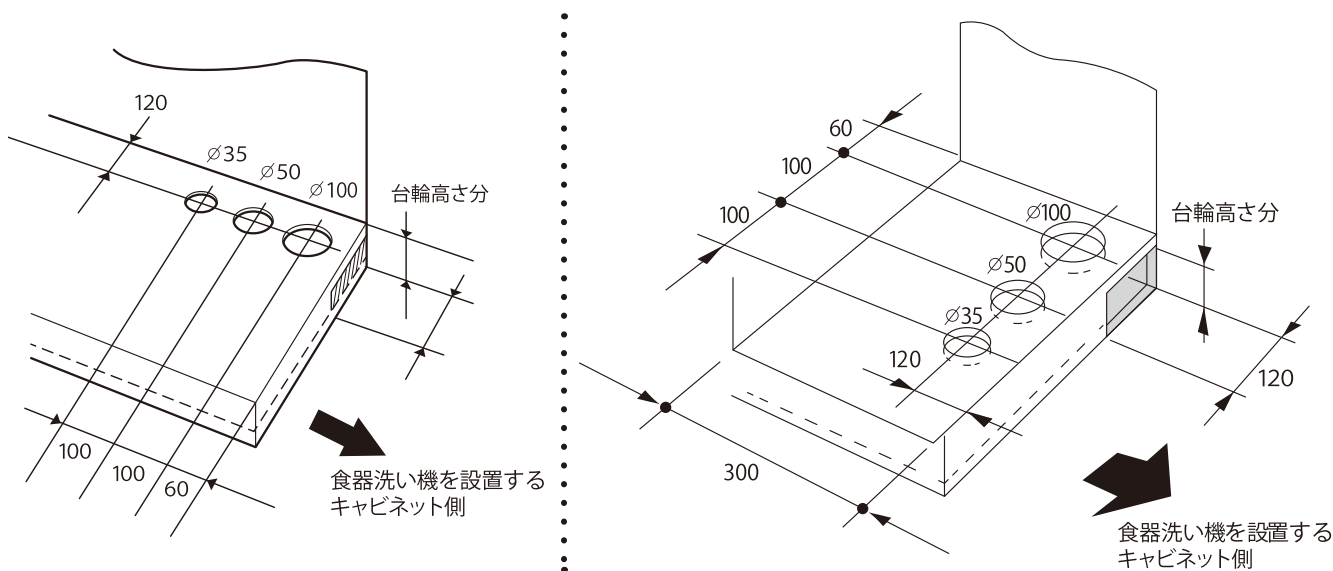


⚠ 注意

カーペット、フローリングなどを製品設置後に後貼りした場合、設置した面と引き出しする正面側に段差が出来ます。修理や点検の際に製品を引き出せず、改修工事が必要になる等の問題が発生しますので、絶対に行わないでください。

隣接するキャビネットに必要な設備および寸法について

【隣接するキャビネットの加工例】



⚠ 注意

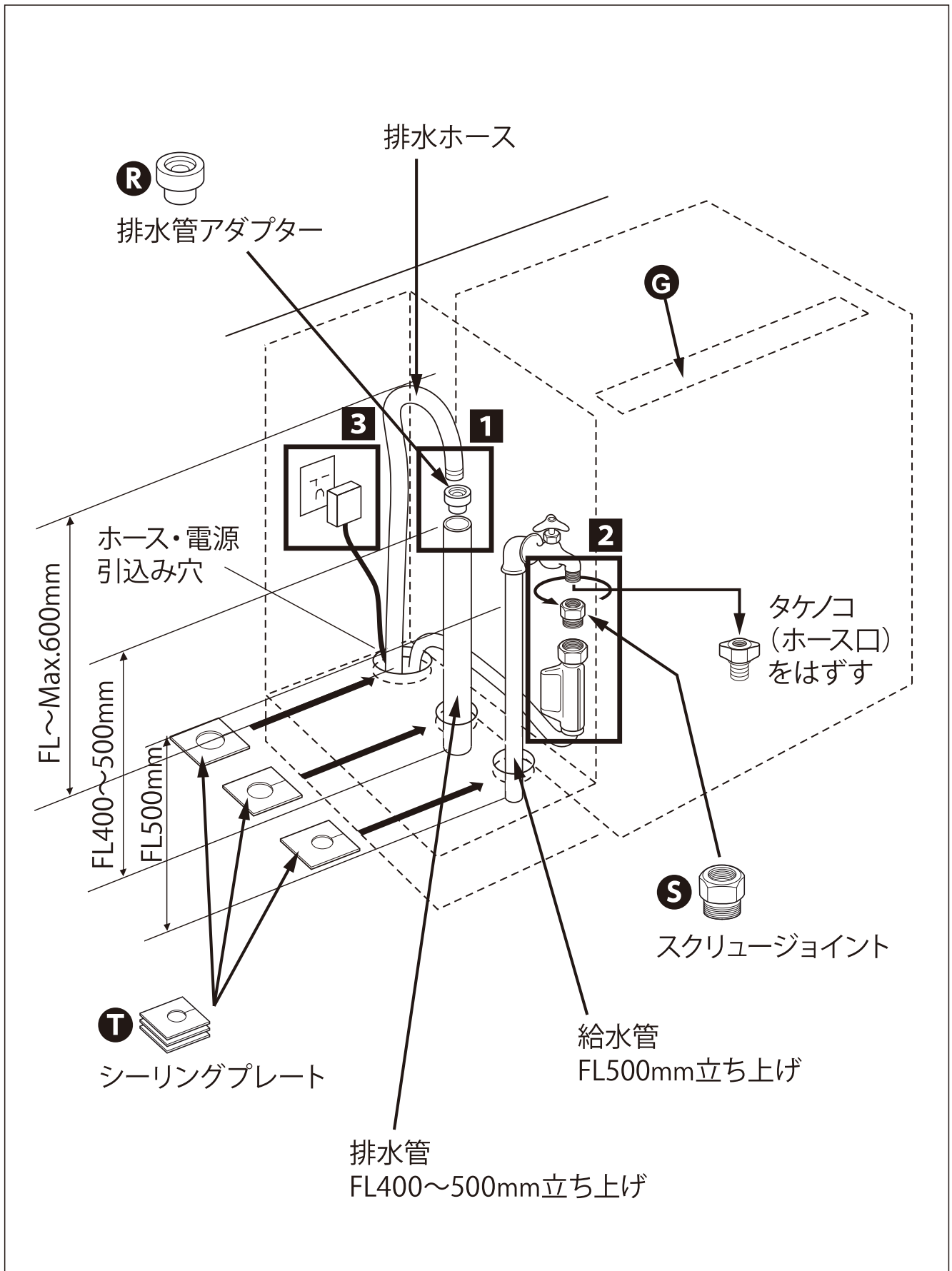
本製品の背面側に給排水設備を設けない。

故障、漏水が発生した場合、ご使用者様自身が給水栓を閉め、拡大被害につながらないようにする為、必ず本製品の左右に設備を設け、目視点検が行えるように設計してください。

給水・排水・電源設備のレイアウト

① 給排水工事は、水道法、建築基準法、各条例等の法規に準じて行ってください。

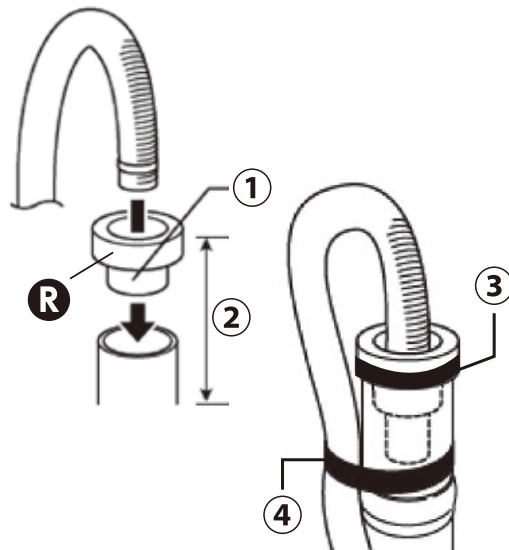
△ 注意 設備は万が一のトラブルに備え、必ず目視出来る場所にレイアウトする。



1

排水ホースの接続

- ①排水管アダプター↔排水管が接する部分に耐熱性の接着剤などを塗り、しっかり差し込んでください。
- ②排水ホースの先端から100mm程から最大で150mm、排水管アダプターの穴に排水ホースを差し込んでください。
- ③排水管アダプターと排水管を、図のようにビニールテープで抜けないように固定します。
- ④排水管と排水ホースを図のようにU字型にしてとめ、ビニールテープまたはインシュロックで固定します。この時、排水ホースの頂点が本製品を設置した床面から、最大で600mmまでの高さに収まるように固定してください。



2

給水ホースの接続

・給水設備

1/2"カップリング付横水栓
7030-13 (カクダイ) または JY30J-13 (三栄水栓)
※接続の際、タケノコ (ホース口) は外します。

⚠ 注意

給水管の立ち上がりは、床面より500mm必要です。

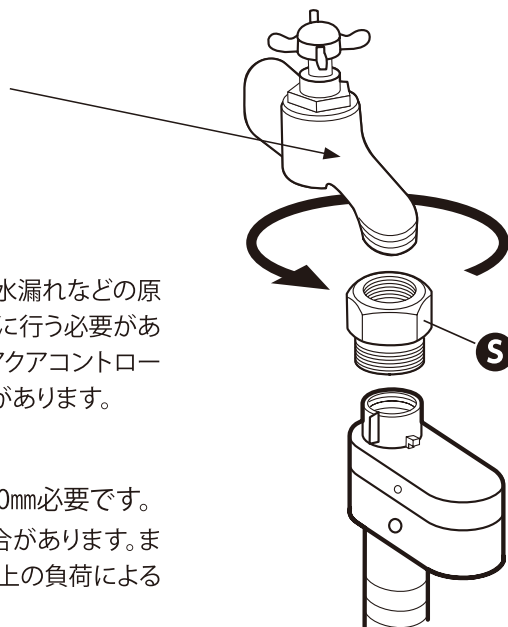
※高さが足りない場合、給水ホースにストレスが掛かり水漏れなどの原因となります。給水ホースの接続向きは必ず図の通りに行う必要があります。横向きや下向きなどで接続すると、漏水時にアクアコントロール機能が正常に働かず、拡大損害につながるおそれがあります。

⚠ 注意

排水管 (VP40) の立ち上がりは床面より400mm~500mm必要です。

※立ち上がりが不十分な場合、ホース類が届かない場合があります。また、正常な運転が行えずエラーが表示される、必要以上の負荷による早期故障等、不具合の原因となります。

※水栓とスクリージョイントとの間にパッキンが入ります。



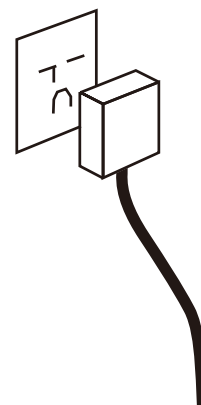
3

電源設備

⚠ 警告

アース接地工事が不完全な場合、故障、誤作動、漏電時に感電するなど、重大事故の原因となります。

- ・单相200V、20Aの専用回路と漏電ブレーカーが必要
- ・アース付コンセント
WKS294 (露出型・パナソニック株式会社)
WN1932 (埋込型・パナソニック株式会社)
- ・コンセントの位置は、万が一水漏れが発生した場合でも水が入らない箇所に設置してください。



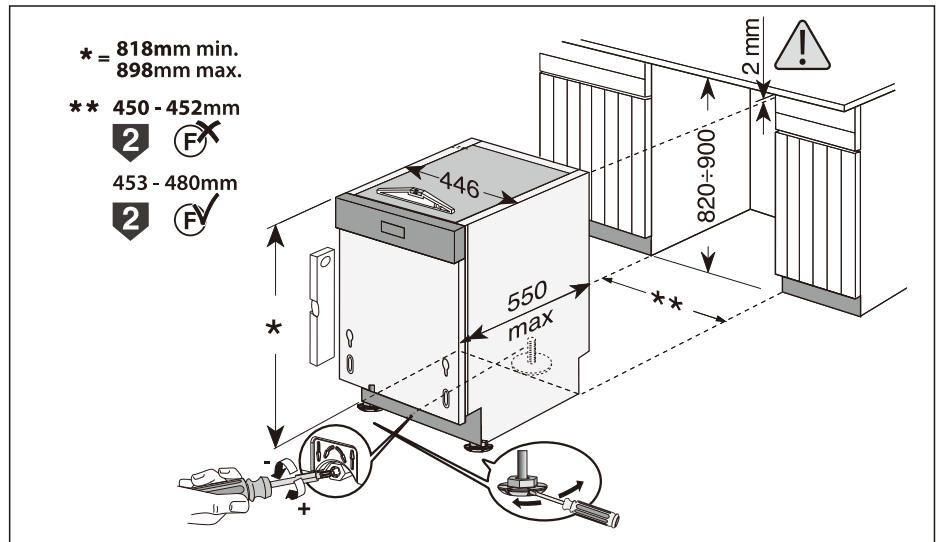
設置手順

- ❶ 本製品の設置には、トルクスドライバー (T-20)、マイナスドライバーが必要となります。
製品を設置する際には、必ず手袋などを使い、怪我をしないように注意してください。

1 本体の高さ、水平調整を行う

- ⚠ **注意** 本製品を設置される際、本製品の最も高い位置とカウンター下との間に【本体固定金具⑩】が入ります。
必ず2mmの隙間が出来るように開口の高さを設定してください。

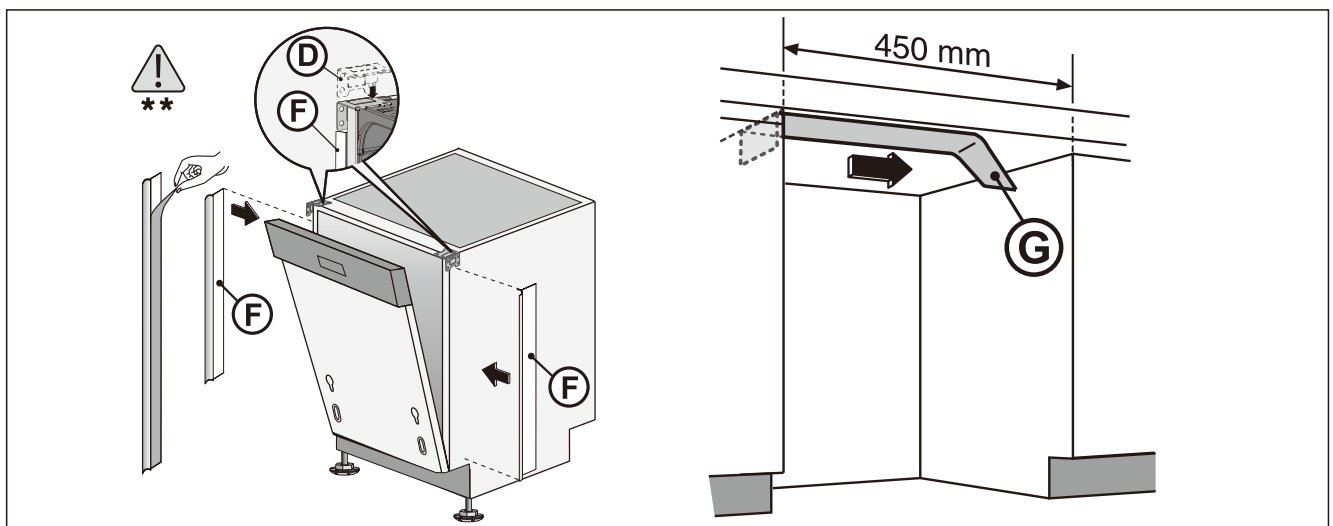
- ① カウンターの手前に本製品を置き、先に調整脚の後ろの高さをカウンター下端の高さに合わせます。
- ② 水平器を置きながら、手前にある左右の調整脚を回し、本製品が水平になるように高さを合わせます。



2 フィラー/カウンター裏の養生

- ❶ 開口寸法の横幅が450-452mmの場合、【フィラー⑨】の取付けを行わないでください。(1 図中 ** 参照)
本体を開口に納める事が出来なくなる、ドアがしっかり閉じず漏水するなど、不具合の原因となります。
- ❷ 【シート⑩】は必ず取り付けてください。

【フィラー⑨】を【本体固定金具⑩】が被さらない位置まで下げ、本製品に貼り付けます。
カウンター下を綺麗に乾拭きし、【シート⑩】をカウンターの形状に沿って貼ります。
貼り付け時、左右の角で防湿シートは折れ曲がります。直角に貼り付け出来るように、定規などを当てて処理してください。シートが本製品に接触してめくれてしまう、本製品を押し込めない場合があります。



3 キャビネットに本製品を押し込む

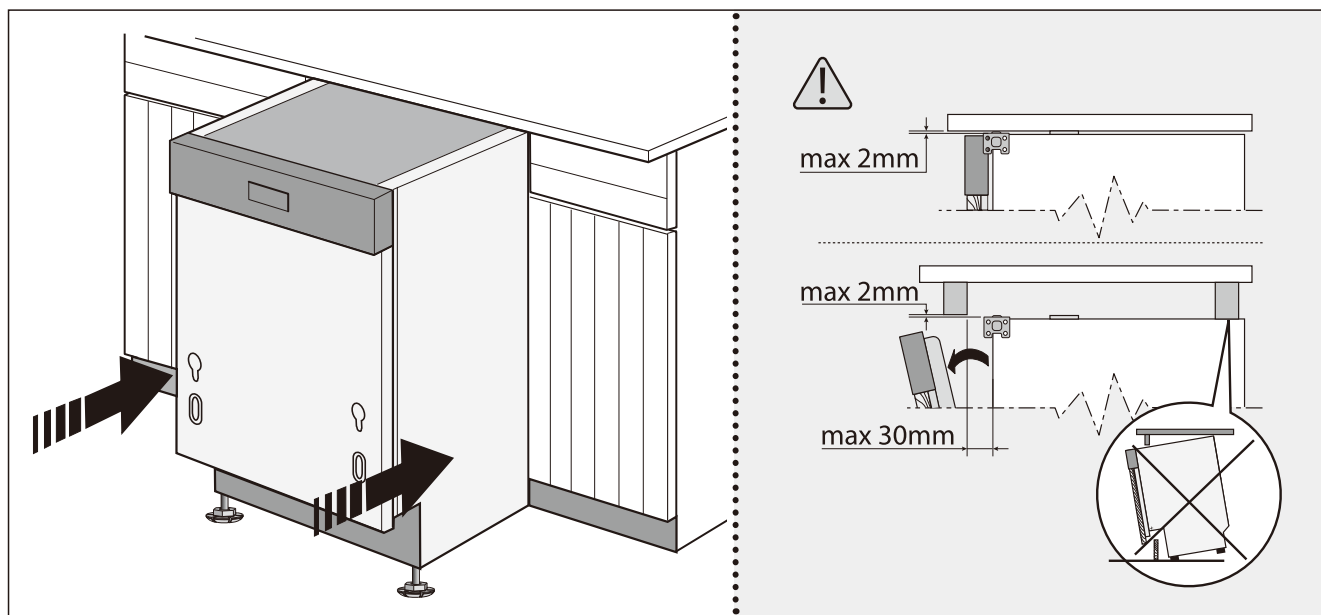
本製品を押し込みます。ホース類が押し潰されないように半分位まで押し込み、ホース類を台輪の開口から引き出しながら、ゆっくり奥まで押し込んで収めます。

❗【本体固定金具⑤】がカウンター、【シート⑥】に接触しないようにご注意ください。

【前垂れのあるカウンター下に設置する場合】

■前垂れの奥側～ドアを開けた状態の本製品正面側との離隔距離は、最大で30mm以内に収めてください。

■ドアを開けた際、本製品が手前側に倒れないように、背面側で本体を支えるような加工をカウンター奥側に行ってください。



4 ホース、電源コードを各部に接続する

【排水ホース】

本製品を設置した床面から最大で600mmの高さまで排水ホースを立ち上げてください。給水エラー、排水エラーの原因となり、正常に動作しないことがあります。

【給水ホース】

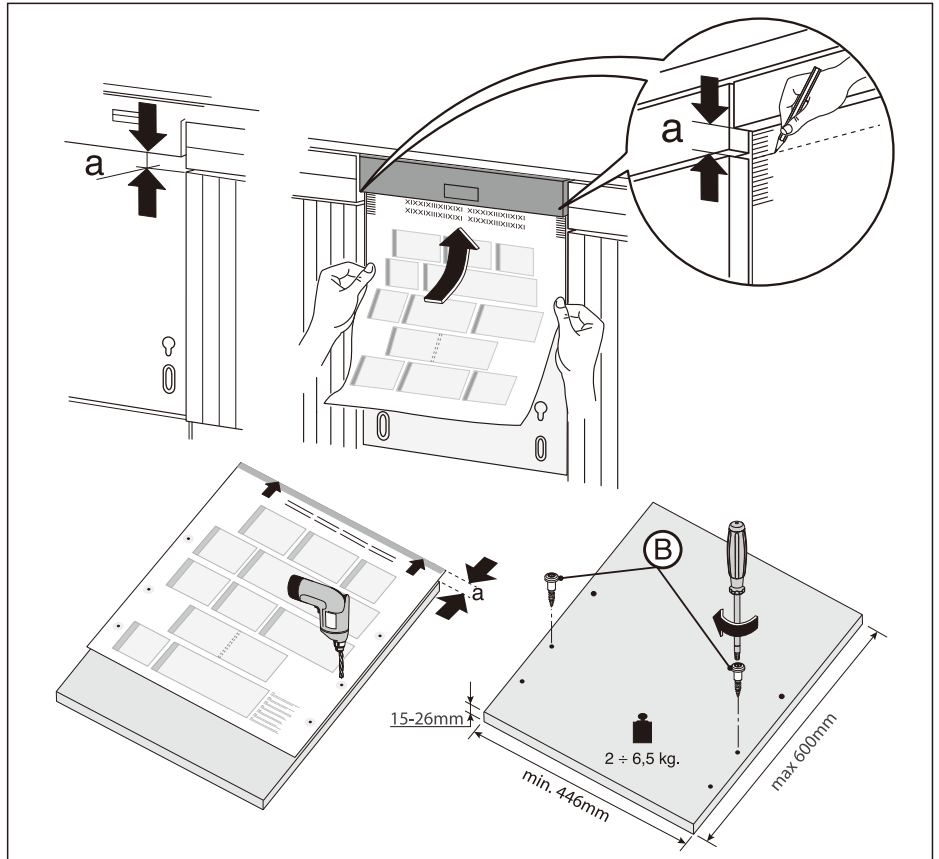
本製品を設置した床面から400～500mmの高さまで給水ホースを立ち上げてください。ホースの先端に電磁弁があり、高さが足りないとホースへストレスが掛かり危険です。

【電源コードおよびプラグ】

一次側の電源が单相200V、D種接地が正しく行えている事を確認してから、プラグを奥までしっかり差し込んでください。詳しくはP.4 給水・排水・電源設備のレイアウトを参照ください。

5 ドア材に取付けるネジ穴の位置を確認する

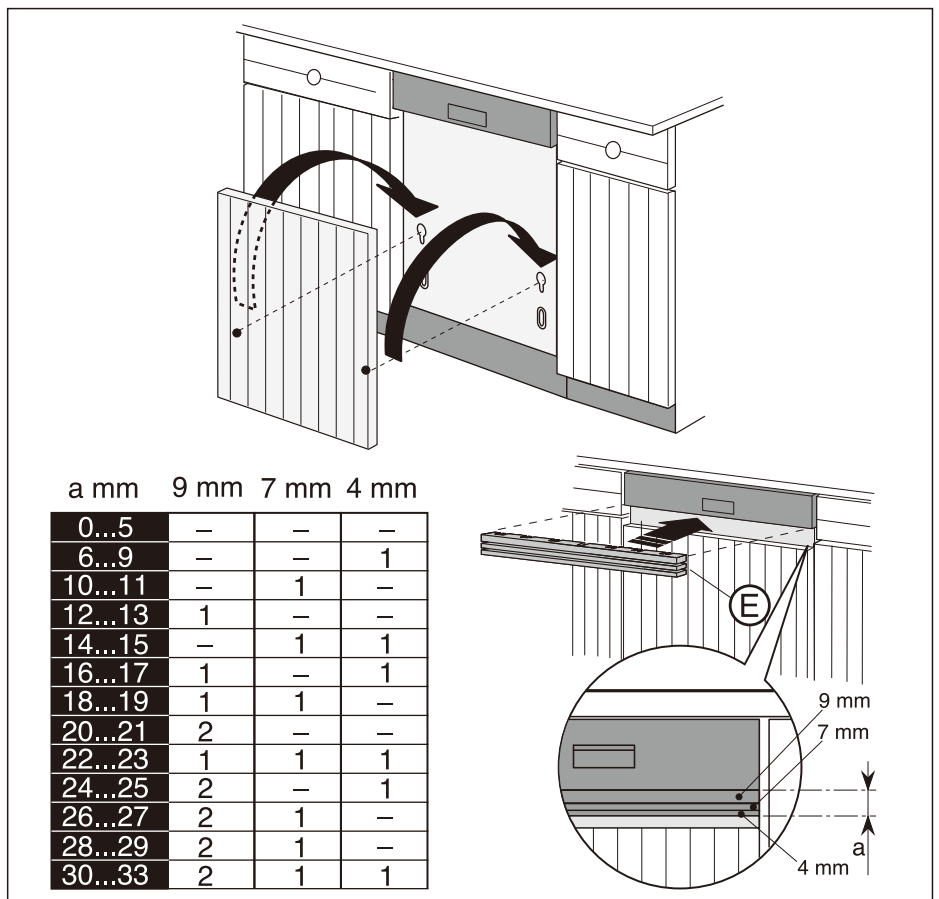
- ①両サイドの飾り板との高さを合わせるために、【ドア材取付け用型紙】を使い、**a**の寸法を割り出します。
- ②マーキングした型紙を、コントロールパネル側に向かってドア材から出るように型紙を合わせます。
- ③キリなどで下穴をあけます。
- ④開けた下穴に【ネジ**B**】をドライバーで取付けます。



6 ドア材を本製品に取付ける

- ①【ネジ**B**】を取付けしたドア材を、本製品に開いている鍵穴に差し込みます。
- ②【スペーサー**E**】を使って両サイドの化粧板との高さを調整します。

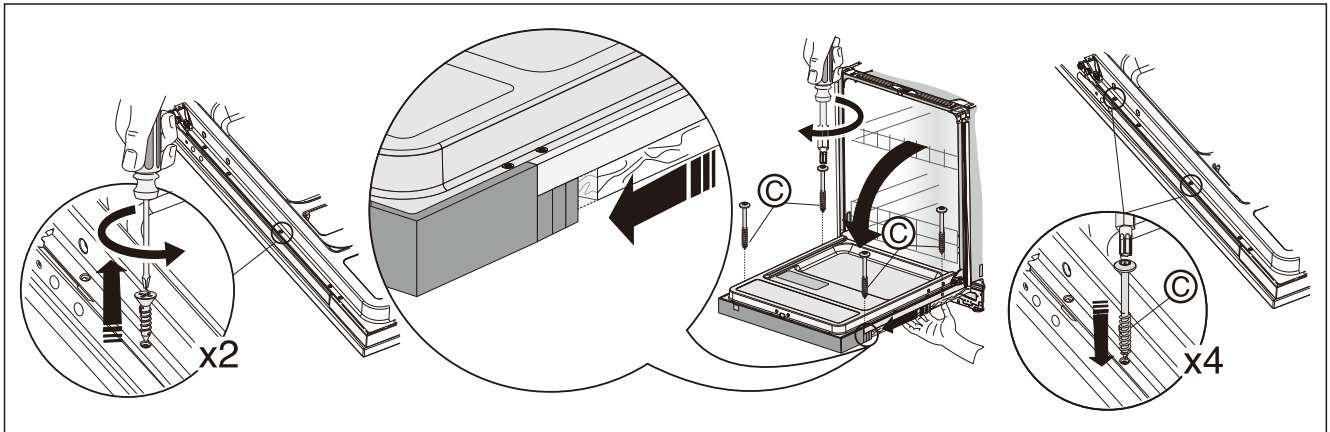
■【スペーサー**E**】は4mm、7mm、9mmと3種類あります。**5**で測定した**a**のサイズに合わせて組み合わせし、枚数を調整してください。(図のサイズ参照)



7 ドア材をネジで固定する

本製品の扉を開き、【ネジC】を使用してドア材を取付けます。

ネジは電動ドライバーで取付けせず、下穴を開けてから、手で回して取り付けるようにしてください。

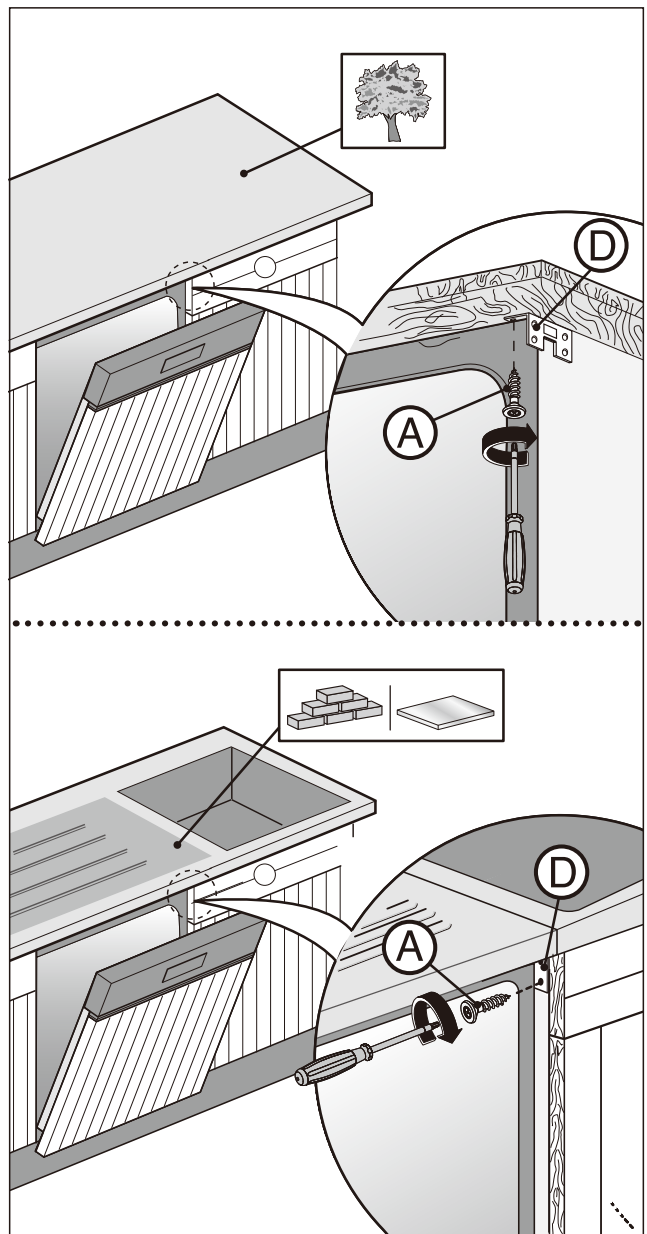
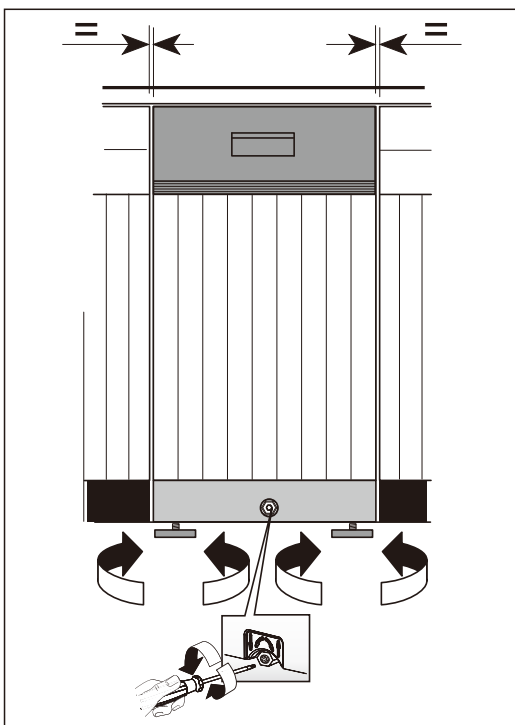


8 本体をキャビネットに固定する

①【本体固定金具D】を使い、本製品をキャビネット内部に固定します。

【ネジA】を使い、側面と天面両方に固定します。

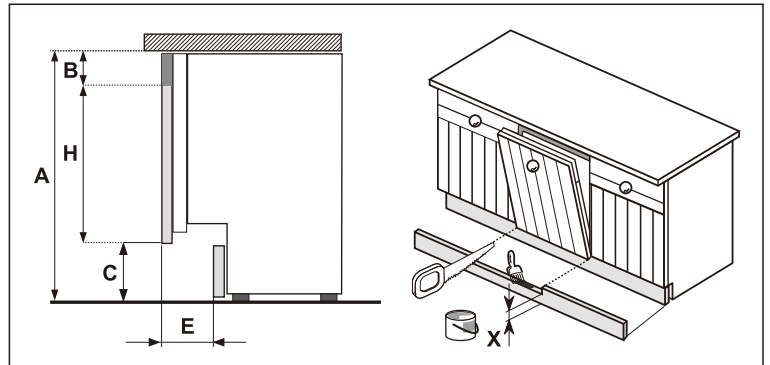
②最後に左右の隙間、本製品の水平を確認し、ドア材の微調整を行って完了です。



9 ドア材と巾木の寸法

【設定可能なドア材の寸法について】合わせてP.8をご参照ください。

高さ	H	528-598mm (スペーサー含む)
幅	W	最小446-450mm
厚さ	D	15-26mm
重量	kg	2-6kg



- A: FL~カウンター下端(820-900mm)
- B: カウンター下端~コントロールパネル下端(122mm)
- C: FL~隣接キャビネット扉下端(100-170mm)
- E: ドア材の表面から巾木表面までの隔離距離
- H: ドア材の高さ(スペーサー含む)(528-598mm)

【ドア材の寸法】

$$H=A-B-C$$

※最大寸法598mm

【巾木の寸法】

巾木の高さはCとEの寸法により異なります。
下図を参考に巾木の高さ(X)を割り出してください。

		C (mm)							
		170	160	150	140	130	120	110	100
E (mm)	40	136	131	125	118	110	100	93	85
	50	135	131	125	118	110	102	92	85
	60	137	132	125	118	110	102	94	85
	70	138	134	128	120	110	104	95	85
	80	/	139	130	124	115	105	98	88
	90	/	/	138	129	120	110	100	90
	100	/	/	/	135	125	115	105	95

X

例：X寸法の出し方

- C寸法が100-109mm、E寸法が40-100mmの場合、
X寸法は85-95mmと設定できます。
- C寸法が130-139mm、E寸法が40-70mmの場合、
X寸法は110mmと設定できます。
また、E寸法が80-100mm、X寸法は115-125mmと設定できます。

試運転の前に

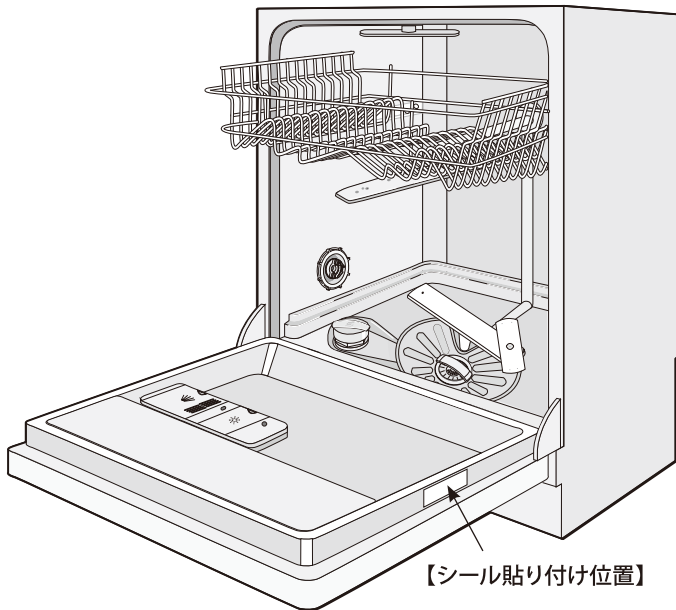
点検項目	チェック事項	参照	チェック
設 置	防湿シート、フィラーは正しく取り付けられていますか？	❷防湿処理をする	
	本体は水平ですか？ キャビネットへ固定されていますか？	❶本体の高さ、水平調整をおこなう ❸本体をキャビネットに固定する	
接 続	ホース類に水漏れはありませんか？	5 ページ	
	給水ホース、給水栓など、接続部の増し締めは行いましたか？	5 ページ	
	給水管は、製品を設置した床面から500mm 立ち上げされていますか？	4～5 ページ	
	排水管は、製品を設置した床面から400～500mm 立ち上げされていますか？	4～5 ページ	
	単相200V、20A の専用回路と漏電しゃ断器を設けましたか？	4～5 ページ	
	電気設備技術基準など関連法令および規則に従い、『法的有資格者』によるアース工事および電気配線工事を行いましたか？	1 ページ、5 ページ	

試運転を行う

- ❶ 設置後に試運転を行い、水漏れや不具合が発生していないか確認を行ってください。
- ❷ 試運転確認後、ご使用者様に引渡しされるまでに時間が空く場合は、給水栓を閉栓し、庫内をしっかりと拭いてからドアを閉じて、安全を確保してください。

1	給水栓を開きます。
2	排水管に排水ホースが差し込んであり、製品を設置した床面から400～500mmの高さまで立ち上げてあることを確認し、電源ボタンを押して電源を入れます。
3	<p>【Program】 ボタンを数回押し、LED ランプを【30min】コースに合わせ、【Start】 ボタンを押してドアを閉めます。</p> <p>※ドアを閉めた後、コース洗浄が始まるまでに給水と排水を複数回行いますが、正常です。 なお、表示される時間は目安となり、洗浄時の環境によって前後します。</p> <p>※サテライトスプレーアームのねじが緩んでいないか確認を行ってください。 コース洗浄時に漏水が発生するおそれがあります。</p>
4	<p>試運転動作完了後、ドアを開けて以下を確認してください。</p> <p>a) お湯になっているか b) 排水されているか c) ゴミフィルター類に破損が無い d) サテライトスプレーアームのねじが緩んでいないか e) 水漏れが周囲で発生していないか</p>
5	電源を切り、ドアを閉めてキャビネットへの接触が無いか確認して終了します。

本製品をご使用者様にお渡しする前に



お引渡しの際、以下の情報を取扱説明書、本設置マニュアルに記載してお渡しください。

- PNC（プロダクトナンバーコード：11桁の数字のみで構成された番号となります。）
- S.N.（シリアルナンバー：8桁の数字のみで構成された番号となります。）
- 本製品をご購入された販売店名および日付の分かる書類の原本
【例】納品書、領収書など

シリアルナンバー記載箇所については、左図を参照ください。

設備点検確認者：

機器点検確認者：

PNC：

S.N.：

本製品は特定保守製品です。

- 本製品は消費生活用製品安全法で定められた特定保守製品です。
- 特定保守製品とは、消費生活用製品のうち、長期間の使用に伴い生ずる経年劣化により安全上支障が生じ、一般消費者の生命又は身体に対して特に重大な危害を及ぼすおそれが多いと認められる製品であって、使用状況等からみてその適切な保守を促進することが適当なものとして政令で定めるものをいいます。
- 本製品付属の本マニュアルおよび取扱説明書、特定保守製品所有者票は、必ず特定保守製品取引事業者様や関連事業者様より、消費者、賃貸業者など製品の所有者（以下ご使用者様）にご説明のうえお渡しください。所有者票の代行記入などを行う場合は、ご使用者様の同意がある場合等が条件となります。このため、必ずご使用者様本人の同意を得てから行ってください。
- 本製品を取得された方は、特定保守製品の輸入事業者に対する所有者情報の提供に協力する責務があります。詳しくは本製品付属の取扱説明書、または当社ウェブサイト（下記参照）をご確認ください。

● 本製品についてのお問合せは

エレクトロラックス・ジャパン株式会社
フリーダイヤル：0120-544-507/0120-03-6663
HPアドレス：www.aeg-jp.com